

テーマ 祭 花 (まつりばな)

主な花材



ヒオウギ

(徳島県産)

名前の由来は、扇を開いたような葉の姿から付けられました。災厄除去が起源とされている京都の夏の風物詩・祇園祭では、祭りの期間中、魔除けとして床の間や軒先にヒオウギを飾る習慣があります。

花言葉：誠意、個性美



ユウギリソウ

(兵庫県産)

名前の由来は、小花が密集した姿とくすんだ花色（白や紫が多い）が夕霧のように見えるからと言われています。

花言葉：穏やかな精神、はかない恋、やさしい愛情



マンサク

(兵庫県産)

名前の由来は、早春に他の木に先駆けて花が「まず咲く」「真っ先に咲く」ことから転訛したとする説、また黄金色の花が多数咲くと豊作になるといわれることから「万年豊作」に由来するといった説など様々です。

花言葉：靈感、神秘、ひらめき

